

第2回日本服薬支援研究会/
第14回 旧簡易懸濁法研究会 総会

資 料

日時:2020年9月14日(月)～19日(土)

研究会会員メーリングリストによる会議

第2回日本服薬支援研究会/第14回旧簡易懸濁法研究会 総会

1. 議 事

ア. 報 告 事 項

担 当

2019年度事業報告

新井副代表幹事

2019年度会計収支報告

安藤幹事

2019年度会計収支監査報告

宮本幹事

役員

世良幹事

研究会規則改正

石田副代表幹事

イ. 議 案

2020年度事業計画案

新井副代表幹事

2020年度事業予算案

安藤幹事

2. 簡易懸濁可否情報共有システム新規登録者 表彰 世良幹事

服薬支援研究会/簡易懸濁法研究会

【議 事】

ア. 報告事項 2019年度事業報告

1. <広報部・HP 委員会>

- 1) 日本服薬支援研究会、ホームページ（HP）の移行が完了（2019/9/27）
 - ・「日本服薬支援研究会の紹介」の設立趣意書を更新
 - ・「簡易懸濁法認定制度」（会員スペース）に簡易懸濁法認定薬剤師および簡易懸濁法認定指導薬剤師の申請書類を掲載
- 2) HP トップページに入会案内の PDF ファイルを掲載（2019/10/6）
- 3) 2020 年度診療報酬改定に合わせ
 - ・HP トップページに「簡易懸濁法を取り巻く大きな変化」を掲載（2020/3/10）
 - ・トップページの「簡易懸濁法を取り巻く大きな変化」の情報を更新
参考図書・文献のページを更新（2020/5/30）
- 4) 会員スペース内、簡易懸濁法認定制度ページに「Q & A（よくある質問）」を追加（2019/10/25）
- 5) 会員スペース内、簡易懸濁可否情報共有システムに新規データを追加
 - ・追加データ数 13 品目

2. <広報部・会誌委員会>

- 1) 日本服薬支援研究会雑誌 vol7、no2、2019 （2020/1 発行）
- 2) 日本服薬支援研究会雑誌 vol8、no1、2020 新型コロナウイルス感染拡大により学会・行事等の中止・自粛により発刊を中止し、代わりに調剤と情報（じほう）の別冊および各種連絡・案内を郵送（2020/8）

3. <学術部・学会レポーター>

- 1) 第 29 回日本医療薬学会年会（福岡）、第 52 回日本薬剤師会学術大会の報告を日本服薬支援研究会雑誌 vol7、no2、2019 に掲載

4. <生涯教育部・生涯教育委員会>

- 1) 2019 年度 認定制度について
 - ・2019 年 9 月 28 日～10 月 30 日に申請受付
 - ・簡易懸濁法指導薬剤師の認定 2 名
 - ・簡易懸濁法認定薬剤師の認定 9 名
 - ・認定審査試験総評（HP に掲載）
- 2) 簡易懸濁法認定薬剤師および認定指導薬剤師制度についての Q&A 作成（2019/10/23）
 - ・日本服薬支援研究会雑誌 vol7、no2、2019 に掲載

研究会主催、共催・講演の講演会、実技セミナー
2019年7月～2020年6月（実施のみ、中止は含まず）

【研究会主催】

1. 第1回 日本服薬支援研究会／第13回 簡易懸濁法研究会 大会・総会

日時： 2019年 9月28日（土）13:30～（総会・研修会・ポスター発表・懇親会）
9月29日（日）9:00～16:30（実技セミナー）

場所： 北里大学（白金キャンパス）薬学部1号館4階多目的室ほか（東京都港区）

大会長：フローラ薬局 篠原久仁子、実行委員長：北里大学薬学部 青木学一

共催：北里大学薬学部、日本くすりと糖尿病学会、日本アロマセラピー学会

協賛：日本老年薬学会、後援：関東地区の薬剤師会および病院薬剤師会

内容：「簡易懸濁法研究会から日本服薬支援研究会へ薬剤師のソコヂカラと将来構想」他

9月28日（土）

講演1「合併症を伴う糖尿病患者への服薬支援と糖尿病薬物療法認定制度」

北里大学薬学部・教授/日本くすりと糖尿病学会理事長 厚田幸一郎先生

講演2「病院における簡易懸濁法を用いた服薬支援～北里大学病院の取り組み～」

北里大学病院薬剤部 宮坂優人先生

講演3「嚥下障害のリハビリテーション～体の栄養、心の栄養～」

原宿リハビリテーション病院筆頭副院長 稲川利光先生

講演4「アロマセラピーを用いた服薬支援（アロマ製剤実習）」

湘南ホスピタル 佐藤玲子先生、フローラ薬局 篠原久仁子先生

ポスター示説、企業展示

総会

懇親会

9月29日（日）

スポンサードセミナー：共催 松浦薬業株式会社

・漢方薬による服薬支援「在宅の訪問栄養管理と漢方薬による服薬支援」

フローラ薬局 篠原久仁子先生

・「がん患者の栄養管理と漢方薬による服薬支援」

芝大門いまづクリニック 今津嘉宏先生

ポスター示説（偶数番号）、企業展示

基調講演：「簡易懸濁法研究会から日本服薬支援研究会へ薬剤師のソコヂカラと将来構想」

日本服薬支援研究会・代表幹事 倉田なおみ先生

共催：アボットジャパン株式会社

簡易懸濁法実技セミナー

・「嚥下障害患者への服薬支援～経管投与を中心に～」

大洗海岸病院薬剤部 新井克明先生

・簡易懸濁法・実技

東京医科大学八王子医療センター薬剤部 奥石徹先生

昭和大学薬学部 熊木良太先生

2. 第1回日本服薬支援研究会 簡易懸濁法実技セミナー in 神戸

日時： 2020年2月23日（日）10:30～16:30

場所： 兵庫医療大学 M棟 M114 講義室、M207 実習室（兵庫県神戸市）

内容：「服薬支援のための簡易懸濁法実技（基礎）」

講義「点眼薬の使用支援-使用上の注意と自助具-」

兵庫医療大学薬学部 村上雅裕先生

「運動障害、嚥下障害に用いる自助具と機器」

昭和大学薬学部 倉田なおみ先生

「簡易懸濁法の基礎」

兵庫医療大学薬学部 天野 学先生

実習「服薬支援のための簡易懸濁法実技（基礎）」

進行：北里大学薬学部 青木学一先生

ファシリテーター：徳島文理大学薬学部 石田志朗先生

昭和大学薬学部 倉田なおみ先生

兵庫医療大学薬学部 天野 学先生

【研究会共催、後援】

●：講演、◎講演・実技セミナー

● 北駿薬剤師会講演会

日時：2019年7月10日（水）19:15～20:30

場所：御殿場市民交流センター「ふじざくら」2階第3・4会議室（静岡県御殿場市）

講演：「秘めたるやさしさを持つ剤形とは？」昭和大学薬学部 倉田なおみ先生

● 心不全チーム医療 勉強会

日時：2019年7月12日（金）19:00～20:45

場所：アーバンホテル南草津2階「サルビア」（滋賀県草津市）

講演：「秘めたるやさしさを持つ剤形とは？」昭和大学薬学部 倉田なおみ先生

◎ 小川薬剤師会薬薬連携研修会

日時：2019年7月16日（火）18:10～20:10

場所：小川赤十字病院 5階A/B会議室（埼玉県比企郡）

内容：「基礎から学ぶ簡易懸濁法実技セミナー」東京薬科大学薬学部 秋山滋男先生

● 高齢者トータルケア講演会

日時：2019年7月16日（火）19:30～21:00

場所：スカイタワー西東京（東京都西東京市）

講演：「秘めたるやさしさを持つ剤形とは？」昭和大学薬学部 倉田なおみ先生

◎ 2019 年度簡易懸濁法実技セミナー in 仙台

日時：2019 年 7 月 20 日（土）14:00～18:30

場所：東北医科薬科大学 小松島キャンパス（宮城県仙台市）

内容：「過剰でも過少でもない薬剤の適正使用を考える－真のポリファーマシー対策とは？－」大洗海岸病院薬剤部 新井克明先生

「適正な簡易懸濁を習得するために～現場で生かせる簡易懸濁～」東京薬科大学薬学部 秋山滋男先生

「簡易懸濁法実技セミナー」新井克明先生、秋山滋男先生

◎ （一社）大阪市北区薬剤師会 研修会

日時：2019 年 7 月 20 日（土）15:30～19:10

場所：UMEDAI 大阪・梅田会議室（大阪府大阪市）

内容：「経管投与の服薬支援～簡易懸濁法を基礎から見つめなおす～」昭和大学薬学部 倉田なおみ先生

◎ 第 222 回 函館薬剤師会勉強会

日時：2019 年 8 月 6 日（火）19:00～

場所：ベルクラシック函館 3F「クラッセ」（北海道函館市）

内容：「経管投与の服薬支援～簡易懸濁法を基礎から見つめなおす～」昭和大学薬学部 倉田なおみ先生

● 徳島文理大学薬友会 徳島支部総会・研修会

日時：2019 年 8 月 17 日（土）18:45～19:30

場所：徳島文理大学 24 号館 5 階 臨床薬学センター（徳島県徳島市）

講演：「嚥下障害患者に対する服薬支援」徳島文理大学薬学部 石田志朗先生

● 2019 年度徳島文理大学薬友会 山口支部勉強会

日時：2019 年 8 月 25 日（日）14:30～16:00

場所：山口グランドホテル（山口県山口市）

講演：「嚥下困難患者への服薬支援-内服薬の簡易懸濁法を正しく使用するために-」徳島文理大学薬学部 石田志朗先生

◎ 大田原市多職種合同研修会

日時：2019 年 9 月 7 日（土）14:00～16:20

場所：TOKO-TOKO おおたわら 3F 市民病交流センター大会議室（栃木県大田原市）

内容：「多職種で学ぶ・活かす簡易懸濁法セミナー」東京薬科大学薬学部 秋山滋男先生、京医科大学八王子医療センター薬剤部 興石 徹先生

◎ 2019 年度第一薬科大学薬剤師生涯学習講座「簡易懸濁法認定薬剤師実技研修会」

日時：2019 年 9 月 7 日（土）16:00～19:10

場所：第一薬科大学 新館 4 階 製剤実習室（福岡県福岡市）

内容：「簡易懸濁法を基礎から学ぶ実技セミナー」霧島市立医師会医療センター薬剤部
岸本 真先生

◎ 2019 年度第 5 回 在宅医療・介護を考える会

日時：2019 年 9 月 11 日（水）19:00～20:45

場所：丸子中央病院 2 階大会議室（長野県上田市）

内容：「基礎から学ぶ簡易懸濁法実技セミナー」東京薬科大学薬学部 秋山滋男先生

● 日立・究極の連携セミナー

日時：2019 年 9 月 18 日（水）18:20～20:15

場所：日立シビックセンター501（茨城県日立市）

内容：「秘めたるやさしさを持つ剤形とは？～抗凝固薬を例に～」昭和大学薬学部 倉田な
おみ先生

◎ 簡易懸濁法研修会（PC フォーラム三重 第 158 回例会）

日時：2019 年 9 月 20 日（金）19:00～21:00

場所：三重県薬剤師会館 大会議室（三重県津市）

内容：「すぐに役立つ服薬支援～簡易懸濁法&製剤の知識～」昭和大学薬学部 倉田なおみ
先生

◎ 第 85 回 KNOAH

日時：2019 年 9 月 26 日（木）18:30～20:30

場所：市民福祉センター「やすらぎ」（宮城県気仙沼市）

内容：「簡易懸濁法の正しい知識と技能」霧島市立医師会医療センター薬剤部 岸本 真先生

◎ 第 50 回 東松島つながる・つなげる・多職種ネットワーク「おいおいの会」

日時：2019 年 9 月 27 日（金）19:00～

場所：東松島市コミュニティセンター（宮城県東松島市）

内容：「在宅医療や介護現場における服薬支援について考える～簡易懸濁法の適応と活用法
～」霧島市立医師会医療センター薬剤部 岸本 真先生

● 日本服薬支援研究会（簡易懸濁法研究会）2019 in 下関

日時：2019 年 10 月 3 日（木）19:15～20:45

場所：下関市薬剤師会館 3F 大研修室（山口県下関市）

講演：「在宅医療や病棟業務における服薬支援について考える～簡易懸濁法の適応と活用法
～」霧島市立医師会医療センター薬剤部 岸本 真先生

◎ 服薬支援のための簡易懸濁法実技セミナー

日時：2019 年 10 月 5 日（土）13:00～16:40

場所：沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 2 階講堂（沖縄県島尻郡）

内容：「嚥下困難な患者に内服薬を投与する際の簡易懸濁法」昭和大学薬学部 倉田なおみ先生、徳島文理大学薬学部 石田志朗先生

◎ 第 46 回名古屋市薬剤師会

日時：2019 年 10 月 5 日（土）15:00～18:00

場所：大橋ビルディング 4 階（愛知県名古屋市）

内容：「簡易懸濁法を基礎から学ぶ実技セミナー」済生会横浜市南部病院 地域連携推進部 課長 飯田純一先生

◎ 釧路病院薬剤師会 学術講演会

日時：2019 年 10 月 19 日（土）15:00～18:00

場所：釧路中央病院 6 階 多目的ホール（北海道釧路市）

内容：「経管投与の服薬支援～簡易懸濁法を基礎から見つめなおす～」昭和大学薬学部 倉田なおみ先生

● 大分県病院薬剤師会 11 月例会

日時：2019 年 11 月 12 日（火）19:00～20:50

場所：大分県薬剤師会館 3 階 研修ホール（大分県大分市）

講演：「薬剤師のソコデカラポリファーマシー、フレイル、簡易懸濁法など」昭和大学薬学部 倉田なおみ先生

◎ 高萩・北茨城薬剤師会研修会 簡易懸濁法研修会

日時：2020 年 1 月 18 日（土）16:50～19:10

場所：北茨城市民病院 4 F 大会議室（茨城県北茨城市）

内容：「簡易懸濁法を基礎から学ぶ実技セミナー」大洗海岸病院薬剤部 新井克明先生

◎ 千葉県病院薬剤師会 第 11 回西部支部研修会

日時：2020 年 1 月 28 日（火）19:00～21:00

場所：船橋市民文化創造館（きららホール）（千葉県船橋市）

内容：「基礎から学ぶ簡易懸濁法実技セミナー」東京薬科大学薬学部 秋山滋男先生、小張総合病院薬剤部（簡易懸濁法認定薬剤師）飯塚倫子先生

◎ 薬剤師のための在宅医療研究会

日時：2020 年 2 月 11 日（火）10:00～13:10

場所：和歌山県薬剤師会館 4 階 大会議室（和歌山県和歌山市）

内容：「簡易懸濁法の基礎と製剤知識 part2」昭和大学薬学部 倉田なおみ先生、徳島文理大学薬学部 石田志朗先生

◎ 第 17 回 KP 会福島塾

日時：2020 年 2 月 16 日（日）13:00～16:00

場所：慶應義塾大学薬学部 芝共立キャンパス 2 号館 1 階 151 講義室（東京都港区）

内容：「明日から役立つ簡易懸濁法と製剤の知識」昭和大学薬学部 倉田なおみ先生

◎ 高崎市薬剤師会定例研修会 多職種連携による簡易懸濁法セミナー

日時：2020 年 2 月 27 日（木）19:00～21:00

場所：高崎市総合保健センター 2 F 第一会議室（群馬県高崎市）

内容：「高齢者や在宅患者さんの服薬支援に知っておきたい簡易懸濁法を学ぶ」東京薬科大学薬学部 秋山滋男先生、北里大学薬学部 青木学一先生、日高病院薬剤部（簡易懸濁法認定薬剤師）熊井梢恵先生

2019年度 日本服薬支援研究会 収支報告書

(2019年7月1日～2020年6月30日)

【収入の部】					(単位:円)
勘定科目		2019年度	2019年度	差 異	摘 要
大科目	小科目	予 算 額	決 算 額		
会費収入		4,396,000	4,867,000	471,000	
	正 会 員会費	3,390,000	3,611,000	221,000	5,000円×718件（当年度630件、過年度74件+過年度21,000、前受金14件）
	学生会員会費	6,000	6,000	0	2,000円×3名（当年度）
	賛助会員会費	1,000,000	1,250,000	250,000	50,000円×25口（当年度24口、前年度1口）
事業収入		3,207,000	2,155,502	-1,051,498	
	講演会費	0	0	0	会場費返金（ウイंकあいち：講演中止）
	学術大会・総会費	1,332,000	1,272,000	-60,000	事前参加（会員5000円×78名、非会員8000円×49名、学生1000円×5名、賛助会員5000円×6名、非賛助会員30,000円×1名）当日参加（会員6,000円×7名、非会員9,000円×9名、学生1000円×3名、賛助会員6,000円×3名、非賛助会員31,000円×3名）懇親会参加費（4000円×47名）大会補助費（349,154円除く）
	実技研修会費	1,775,000	813,502	-961,498	神戸実技セミナー（主催）：会員4,000円×10名、非会員6,000円×24名（昼食代含む） 日病薬関東ブロック学術大会実技セミナー（学会共催）：500円×64名、日薬学術大会（学会共催）：500人収容、共催セミナー（全国）：認定単位発行会員3000円×11名、認定証単位発行非会員5000円×13名、セミナー資料代：500円×1089名分
	認定事業費	100,000	70,000	-30,000	認定薬剤師申請料5000円×10名 認定指導薬剤師申請料10,000円×2名
その他収入		0	0	0	
当期収入合計(A)		7,603,000	7,022,502	-580,498	
前期繰越収支差額		4,762,287	4,762,287	0	
収入合計(B)		12,365,287	11,784,789	-580,498	

【支出の部】					
勘定科目		2019年度	2019年度	差 異	
大科目	小科目	予 算 額	決 算 額		
事業費支出		3,600,300	2,773,485	-826,815	
	講演会費	0	0	0	会場費（ウイंकあいち：講演中止）
	学術大会・総会費	1,332,000	1,272,000	-60,000	事前準備費（ポスター作成・研修シール・Peatix手数料等）、当日運営費（医薬品・実験器具費・謝金・旅費等）、事後処理費（通信費）、大会補助費（349,154円除く）第1回大会・総会収支報告書を参照
	実技研修会費	1,655,500	1,050,636	-604,864	主催セミナー：謝金・交通費・会場費・研修シール等、学会共催セミナー：交通費・大会参加費等、薬品・器具代：300円×1345名分
	認定事業費	250,000	162,129	-87,871	認定審査会：交通費・日当・会議飲食費、認定証発行費用
	簡易懸濁可否情報 共有システム保守費	262,800	262,800	0	月額21,600円(3ヶ月分)+22,000円(9ヶ月分)
管理費支出	ホームページ改修費用	100,000	25,920	-74,080	日本服薬支援研究会ウェブサイト作成費用
		3,368,550	2,888,361	-480,189	
	幹事会・委員会費	390,000	159,013	-230,987	総会前幹事会(1回)、ミニ幹事会(4回)、web幹事会(1回)：日当・会議飲食費
	事務消耗品費	475,000	721,939	246,939	会誌発行（7月・2月）、日本服薬支援研究会チラシ制作費、コピー代等
	通信費	372,550	284,157	-88,393	後納郵便代、宅急便代、メール便代、切手代
	人件費	1,779,000	1,611,564	-167,436	毎日学術フォーラム事務委託料(会員・庶務・会計業務)、作業委託料
	租税公課	97,000	80,726	-16,274	源泉税
	原稿料	105,000	10,000	-95,000	原稿執筆料(図書カード)
	雑費	150,000	20,962	-129,038	振込手数料、賞状作成費
	予備費支出	600,000	349,154	-250,846	大会補助費（349,154円）
その他支出		0	0	0	
当期支出合計(C)		7,568,850	6,011,000	-1,557,850	
当期収支差額(A)－(C)		34,150	1,011,502	977,352	
次期繰越収支差額(B)－(C)		4,796,437	5,773,789	977,352	

2019年度 日本服薬支援研究会 収支報告書

(2019年7月1日～2020年6月30日)

【収入の部】

(単位:円)

大科目	勘定科目 小科目	2019年度 予 算 額	2019年度 決 算 額	差 異	摘 要
会費収入		4,396,000	4,867,000	471,000	
	正 会 員 会 費	3,390,000	3,611,000	221,000	5,000円×718件(当年度630件、過年度74件+過年度差額分21,000円、前受金14件)
	学生会員会費	6,000	6,000	0	2,000円×3名(当年度)
	賛助会員会費	1,000,000	1,250,000	250,000	50,000円×25口(当年度24口、前年度1口)
事業収入		3,207,000	2,155,502	-1,051,498	
	講演会費	0	0	0	会場費返金(ウイנקあいち:講演中止)
	学術大会・総会費	1,332,000	1,272,000	-60,000	事前参加(会員5000円×78名、非会員8000円×49名、学生1000円×5名、賛助会員5000円×6名、非賛助会員30,000円×1名)当日参加(会員6,000円×7名、非会員9,000円×9名、学生1000円×3名、賛助会員6,000円×3名、非賛助会員31,000円×3名)懇親会参加費(4000円×47名)大会補助費(349,154円除く)
	実技研修会費	1,775,000	813,502	-961,498	神戸実技セミナー(主催):会員4,000円×10名、非会員6,000円×24名(昼食代含む) 日病薬開成ブロック学術大会実技セミナー(学会共催):64名、日薬学術大会(学会共催):500人収容、共催セミナー(全国):認定単位発行会員3000円×11名、認定証単位発行非会員5000円×13名、セミナー資料代:500円×1089名分(関東ブロック学術大会含む)
	認定事業費	100,000	70,000	-30,000	認定薬剤師検定料5000円×10名 認定指導薬剤師検定料10,000円×2名
その他収入		0	0	0	
当期収入合計(A)		7,603,000	7,022,502	-580,498	
前期繰越収支差額		4,762,287	4,762,287	0	
収入合計(B)		12,365,287	11,784,789	-580,498	

【支出の部】

大科目	勘定科目 小科目	2019年度 予 算 額	2019年度 決 算 額	差 異	摘 要
事業費支出		3,600,300	2,773,485	-826,815	
	講演会費	0	0	0	会場費(ウイנקあいち:講演中止)
	学術大会・総会費	1,332,000	1,272,000	-60,000	事前準備費(ポスター作成・研修シール・Penlit手数料等)、当日運営費(医薬品・実験器具費・謝金・旅費等)、事後処理費(通信費)、大会補助費(349,154円除く)第1回大会・総会収支報告書を参照
	実技研修会費	1,655,500	1,050,636	-604,864	主催セミナー:謝金・交通費・会場費・研修シール等、学会共催セミナー:交通費・大会参加費等、セミナー薬品・器具代:300円×1345名分
	認定事業費	250,000	162,129	-87,871	認定審査会:交通費・日当・会議飲食費、認定証発行費用
	簡易懸濁可否情報 共有システム保守費	262,800	262,800	0	月額21,600円(3ヶ月分)+22,000円(9ヶ月分)
	ホームページ改修費用	100,000	25,920	-74,080	日本服薬支援研究会ウェブサイト作成費用
管理費支出		3,368,550	2,888,361	-480,189	
	幹事会・委員会費	390,000	159,013	-230,987	総会前幹事会(1回)、ミニ幹事会(4回)、web幹事会(1回):日当・会議飲食費
	事務消耗品費	475,000	721,939	246,939	会誌発行(7月・2月)、日本服薬支援研究会チラシ制作費、コピー代等
	通信費	372,550	284,157	-88,393	後納郵便代、宅急便代、メール便代、切手代
	人件費	1,779,000	1,611,564	-167,436	毎日学術フォーラム事務委託料(会員・庶務・会計業務)、作業委託料
	租税公課	97,000	80,728	-16,272	源泉税
	原稿料	105,000	10,000	-95,000	原稿執筆料(図書カード)
	雑費	150,000	20,982	-129,018	振込手数料、賞状作成費
予備費支出	予備費	600,000	349,154	-250,846	大会補助費(349,154円)第1回大会・総会収支報告書を参照
その他支出		0	0	0	
当期支出合計(C)		7,568,850	6,011,000	-1,557,850	
当期収支差額(A)-(C)		34,150	1,011,502	977,352	
次期繰越収支差額(B)-(C)		4,796,437	5,773,789	977,352	

上記収支報告書について監査した結果、適当と認めます。

2020 年 8 月 27 日

会計監事

西園 恵郎



2020 年 8 月 26 日

会計監事

宮下 悦子



2020 年度 日本服薬支援研究会（旧簡易懸濁法研究会）役員

- | | | |
|----------|----------------------------|-------------------|
| 1. 代表幹事 | 昭和大学薬学部 | 倉田 なおみ |
| 2. 副代表幹事 | 大洗海岸病院薬剤部 | 新井 克明 |
| | 徳島文理大学薬学部 | 石田 志朗 |
| 3. 幹事 | （特非）健康環境教育の会 | 宮本 悦子 |
| | 吉備高原ルミエール病院薬剤科 | 安藤 哲信 |
| | 有隣病院薬剤科 | 近藤 幸男 |
| | 兵庫医療大学薬学部 | 天野 学 |
| | フローラ薬局 | 篠原 久仁子 |
| | 東京薬科大学薬学部 | 秋山 滋男 |
| | 霧島市立医師会医療センター薬剤部 | 岸本 真 |
| | 徳島大学大学院医歯薬学研究部 | 座間味 義人 |
| | <u>武蔵野大学薬学部</u> | 世良 庄司（所属変更） |
| | 岐阜薬科大学 | 寺町 ひとみ |
| | 東京医科大学八王子医療センター薬剤部 | 輿石 徹 |
| | <u>済生会横浜市南部病院入退院支援センター</u> | 飯田 純一（所属変更） |
| | 北里大学薬学部 | 青木 学一 |
| | 昭和大学薬学部 | 熊木 良太 |
| | <u>兵庫医療大学薬学部</u> | <u>橋本 佳奈（新幹事）</u> |
| 4. 顧問 | 調剤薬局オオバ | 西園 憲郎 |
| | 鳴門山上病院薬剤科 | 賀勢 泰子 |
| | 徳島文理大学薬学部名誉教授 | 岡野 善郎 |
| | 東京理科大学薬学部 | 小茂田 昌代 |
| | <u>和泉市立総合医療センター薬剤部</u> | <u>藤原 琴（新顧問）</u> |
| 5. 事務局 | 株式会社毎日学術フォーラム | |

2020 年度 日本服薬支援研究会/旧簡易懸濁法研究会 組織

【部・委員会】担当幹事

- | | |
|----------|---|
| 1. 会計部 | <u>安藤哲信</u> 、世良庄司、座間味義人 |
| 2. 総務部 | <u>石田志朗</u> 、近藤幸男、新井克明、青木学一、熊木良太
・ 規律委員会 <u>近藤幸男</u> 、安藤哲信、世良庄司、倉田なおみ |
| 3. 広報部 | ・ 会誌委員会 <u>秋山滋男</u> 、岸本 真、寺町ひとみ
・ HP 委員会 <u>世良庄司</u> |
| 4. 学術部 | ・ 学術集会委員会 <u>学会開催地幹事</u> 、総務部
・ 学会レポーター係り <u>座間味義人</u>
・ 調査研究委員会 <u>新井克明</u> 、秋山滋男、世良庄司、
輿石 徹（技術マニュアル）、
宮本悦子（Q&A） |
| 5. 生涯教育部 | <u>近藤幸男</u>
・ 実技セミナー検討委員会 <u>熊木良太</u> 、橋本佳奈、秋山滋男、
（新委員会） <u>新井克明</u> 、岸本 真、石田志朗、
<u>倉田なおみ</u>
・ 生涯教育委員会（簡易懸濁法認定制度）
<u>青木学一</u> 、天野 学、篠原久仁子、
飯田純一、近藤幸男 |
| 6. 会計監事 | <u>宮本悦子</u> 、西園憲郎 |
| 7. 事務局 | <u>世良庄司</u> 、毎日学術フォーラム
（東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル 9 階） |

アンダーライン：委員長

【部門】担当

- | | |
|------------|---|
| 1. 摂食・嚥下障害 | <u>近藤幸男</u> 、岸本 真、天野 学、石田志朗 |
| 2. 運動障害 | <u>岸本 真</u> 、篠原久仁子 |
| 3. 健康長寿 | <u>飯田純一</u> 、橋本佳奈 |
| 4. がんケア | <u>青木学一</u> 、座間味義人、輿石 徹、
小原道子（ウエルシア薬局） |
| 5. 医療安全 | <u>秋山滋男</u> 、宮本悦子、寺町ひとみ、安藤哲信、
新井克明 |
| 6. 小児 | <u>熊木良太</u> 、原田 努（昭和大学薬学部） |

アンダーライン：部門長

日本服薬支援研究会 会則

※ 赤字は、今回追加・訂正した部分

(総則・名称)

第1条 本会は日本服薬支援研究会と称する。

英名は、The Japan Association for Patient Support on Medication とする。

(目的)

第2条 本会は患者またはその看護に当たっている家族及び医療従事者に対する服薬支援を中心に、摂食・嚥下障害、運動障害、健康寿命、小児、高齢者、がんケア、医療安全等の分野において、薬を安全かつ効果的に投与することに関して研究し、その成果を普及させる。そして、患者の医薬品及び医療を主とした生活全般を支援することによりQOLの向上に寄与することを目的とする。

(事業)

第3条 本会は第2条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 研究会の開催など、簡易懸濁法の研究・普及を含む患者の服薬支援及び医薬品および医療に関連する生活支援に関する事業
- (2) 医療・介護現場における問題点の抽出、医療・介護施設及び研究機関（大学・企業など）との連携による研究
- (3) 医療・介護施設間の連携強化による服薬支援・生活支援実施の見学幹旋業務
- (4) 国内外関係学会との連携および国際交流
- (5) 機関誌その他刊行物の発行
- (6) その他、 本会発展のために必要な事業

(構成・会員)

第4条 本会は本会の目的、事業に賛同し、所定の手続きを行った次の会員をもって構成する。

- (1) 一般会員：本研究会の目的に賛同する個人
 - (2) 学生会員：本研究会の目的に賛同する学部・大学院在学中の学生
なお、就職しての大学院生（社会人大学院生）は一般会員とする。
 - (3) 賛助会員：本研究会の目的に賛同し、本会の事業を援助する企業・団体または個人
2. 本会に入会を希望する者は申込用紙に必要事項を記入し、 研究会事務局に届け出た者とする。 以上の手続きを行い、 役員の承認を得た上で会員細則に規定する会費を納入した者を会員とする。
3. 会員の特典については、別途会員細則に規定する。
4. その他、年会費、入会の期間、更新、休会、退会、再入会等については、別途細則に規定する。

(役 員)

第5条 本会に次の役員をおく。

代表幹事 1名
副代表幹事 2名
幹事 若干名
会計監事 2名
事務局長 1名
顧問 若干名

(役員の職務)

第6条 代表幹事は本会を統括し、幹事会ならびに総会では議長となる。

2. 幹事は幹事会を構成し、学術研究会をはじめとする本会事業の運営方針を立案しこれを推進する。
なお、会の効率よい運営のため、学術事業委員会、渉外広報委員会、財務委員会、総務委員会、生涯教育委員会に幹事若干名を置くこととする。
3. 会計監事は本会の会計を監査する。

(役員の選出および任期)

第7条 代表幹事は、幹事の互選により選出されるものとし、その任期は2年とするが再任は妨げない。

2. 幹事は幹事会の推薦により選出されるものとし、その任期は2年とするが再任は妨げない。

(幹事会)

第8条 幹事会は必要に応じて開催するが、電子メールやWeb会議ツールを用いての会議も可能とする。

(部 会)

第9条 当研究会は、調査・研究等の学術事業の執行のために必要があるときは、各種の部会を設けることができる。

2. 各部会の部会長及び委員は、幹事会の承認を得て代表幹事が委嘱する。
3. 各部会の任務、構成及び運営に必要な事項は、幹事会の決議により別に定める。

(学術集会)

第10条 当研究会は、幹事会の決議を経て、学術集会を開催する。

2. 前項に規定する学術集会のほか、あらかじめ幹事会の決議を経たうえで、講演会、研究会等を開催することができる。
3. 学術集会開催にあたり、幹事会の決議をもって会員の中から学術集会大会長を選任する。
4. 学術集会大会長の任期は、前年の学術集会が終了した時から自らが主宰する学術集会が終了した時までとする。

(会計・会費)

第11条 本会の経費は会費・寄付金・その他の収入をもってこれに充てる。本会の収支決算書は会計年度終了後に事務局が作成し、会計監事の監査を受けた上で、幹事会の承認を得て会員に報告しなければならない。

2. 会員は会員細則に定める年会費を納める。会費は主として本会の運営に充当されるものとする。
なお、会費は幹事会で議決し、決定するものとする。
3. 会計年度は毎年7月1日から6月30日までとする。

(事務局)

第12条 事務局は代表幹事のもとに、会員名簿の整理、会費の管理等研究会の運営に必要な諸事務をおこなう。研究会事務局の所在地等は細則に示す。

(会則の変更)

第13条 会則の変更は幹事会の議を経て、会員に報告するものとする。

2. 幹事会は2/3以上の幹事の出席（委任状を含む）をもって成立し、出席者（委任状を含む）の過半数で議決される。

付則

本会則は、2019年6月1日から施行する。

細則、第3条、第3項を追加した。 2020年4月7日

会則の第4条及び細則の第条を改正、別途「会員細則」を設けた。 2020年9月9日

細則

第1条 本会の運営に必要な事項は、この細則に定める。

第2条 細則の立案及び修正は、会則第13条により幹事会が行う。

第3条 会則第4条に定める会員の特典、入会・期間・休会・退会・再入会および会費は別途「会員細則」により定める。

第4条 研究会事務局の所在地等

株式会社毎日学術フォーラム

東京都千代田区一ツ橋1-1-1 パレスサイドビル9階

E-mail : kendaku-office@umin.ac.jp

日本服薬支援研究会 会員細則

※ 赤字は、今回追加・訂正した部分

(目的)

第1条 日本服薬支援研究会（以下、「本研究会」という）の会員に関する規程については、本学会の定款第4条に定める事項のほか、本細則の定めるところによる。

(構成・会員)

第2条 会員は、定款第4条に定める一般会員、学生会員及び賛助会員とする。

(会員の特典)

第3条 定款第4条に定める会員は、次の特典を有する。

全会員共通：

- (1) 講演会や簡易懸濁法実技セミナーなどへの会員向け参加費での参加
- (2) 会誌（年2回）の配布
- (3) 本研究会関連の刊行物の会員特別価格での購入
- (4) 簡易懸濁法可否情報共有システムの使用

一般会員・学生会員：

- (1) メーリングリストを利用した意見交換（疑問点・問題点の問い合わせ）
- (2) 簡易懸濁法認定薬剤師・指導薬剤師の申請資格
- (3) 簡易懸濁法に関する資料の入手

賛助会員：

- (1) 講演会や簡易懸濁法実技セミナーなどに、1口1名につき一般会員向け参加費での参加が可能
- (2) 講演会・大会での展示、パンフレット配布が可能
- (3) 会誌・大会要旨集などへの広告掲載募集の際には、優先権あり
- (4) 疑問点・問題点の問い合わせはできないが、メーリングリストを利用して服薬支援の情報入手が可能
- (5) 希望者には、本研究会のホームページへの企業・団体・個人名の記載と企業・団体のリンク掲載が可能
- (6) 賛助会員の製薬および医療機器企業から本研究会への簡易懸濁法実技セミナー開催の依頼において、実技セミナーに必要な医薬品・器材の実費および講師謝金・交通宿泊費を除き、開催の依頼時における申請手続き料（50,000円/回）は、回数を問わず無料

(会員の期間)

第4条 会員資格の年度は定款11条3項に規定する会計年度と同様の7月1日から翌年6月30日までとする。

2. 年度途中で入会希望者の会員期間は、入会日より年度末の6月30日までとする。

(入会)

第5条 入会する者は、定款第4条に定めるほか、次の入会手続きをしなければならない。

2. 一般会員及び学生会員として入会を希望する者は、本研究会ホームページにおいて所定の情報を入力し登録すると共に、入会の承認後にゆうちょ銀行指定口座に会費を一括前納しなければならない。

3. 賛助会員として入会を希望する企業・団体は、本研究会事務局を通じて書面により所定の情報を登録し、入会の承認後にゆうちょ銀行指定口座に会費を前納しなければならない。
4. 入会承認後60日以内に本細則第7条の4に定める会費の納入が確認できない場合には、当該手続きを無効とする。

(入会日)

第6条 入会日は、前条の入会手続き及び学会事務局において会費の一括納入が確認された日からとする。

(会員資格の更新及び会費の納入)

- 第7条 会員資格を更新する場合は、原則として毎年7月1日から9月30日までの間に本年度分の会費を一括前納しなければならない。
2. 会員に郵送される会費の請求情報に基づき、郵便振替等の方法により本細則第7条4項に定める会費を納入しなければならない。
 3. やむを得ず第1項で定めた期間内に会費を納入できなかった場合は、当該年度の6月30日までに会費納入が確認されれば、当該年度の会員資格が継続される。
 4. 会費の年額は、次のとおりとする。
 - (1) 一般会員 5,000円
 - (2) 学生会員 2,000円
 - (3) 賛助会員(1口) 50,000円

(会員情報の変更)

第8条 会員は、自らの会員情報に変更が生じた場合に、速やかに本研究会事務局に電子メールにて連絡しなければならない。

(休会)

- 第9条 国外での勤務又は留学、産前産後・育児・介護に係る休業、病気療養による休暇等を理由として本研究会の活動ができない場合には、休会を届出ることができる。
2. 休会の届は、休会開始日の3ヶ月前までに別途定める休会届出書及び休会事由を証明する書類等を研究会事務局に提出し、本研究会役員の審議を経て受理されなければならない。ただし、急病や事故等により事前に届出ることができない場合には、休業又は休会を開始した日から3ヶ月以内に届出ることができる。
 3. 休会の期間は、休会の開始日から3年以内に訪れる6月30日までとし、3年を限度とする。なお、当該限度内であれば、前項の手続きを経て休会の期間を延長することができる。
 4. 休会期間中の会費の納入は免除される。ただし、当該期間中は全ての会員資格が停止し、会員名簿及び各認定者名簿から除外されるほか、会員として本研究会が主催する年会や講習会等への参加、雑誌等への投稿ができない。
 5. 復会は、本研究会事務局に復会手続きの連絡をすると共に、復会する次年度の会費を納入しなければならない。また、受理された休会期間を短縮し、早期に復会することができる。
 6. 休会期間の満了日までに前項の手続き及び納付が行われない場合には、休会の開始日の前日を以て退会とする。
 7. 休会期間前後の会員歴及び認定資格歴を合算して、連続した歴と見なすことができる。ただし、休会期間中の

歴を含めることはできない。

8. 各認定制度における休会の取り扱いについては、各認定制度で別に定める。

(退会)

第10条 退会は、定款第9条によるほか、本研究会事務局を通じて退会手続きをしなければならない。

2. 毎年9月30日の時点で2年間の会費が未納の場合には、前々年の6月30日を以て退会とする。
3. 退会日が確定した日以降は、前3条の会員の特典が停止される。

(再入会)

第11条 本研究会を一旦退会した者及び前条第2項により退会となった者は、新たに入会手続きを経なければ会員になることができない。

2. 再入会する者は、入会手続き時に併せて次条の手続きをとることができる。
3. 次条の手続きが完了した場合には、会費未納年度分に限り会員歴を復元することができる。
4. 本細則第13条により除名となった者が再入会を希望する場合、その扱いは役員会で協議する。

(再入会の時の会費納入)

第12条 再入会の時の会費の納入は、未納年度分（最大2年分）とその年度分の年会費を納めなければならない。

(除名)

第13条 会員の除名処分は、該当する委員会及び役員会（幹事会）で協議する。

(本細則の改廃)

第14条 本細則の改廃は、役員会（幹事会）の決議をもって行う。

附則

本細則は、2020年10月1日より実施する。

制定：2020年9月9日

服薬支援研究会/簡易懸濁法研究会

【議 事】

イ. 議 案 2020年度 事業計画(案)

【研究会主催事業】

1. 第2回 日本服薬支援研究会／第14回 簡易懸濁法研究会 学術大会・総会

＜学術集会委員会＞

総会・研修会・ポスター発表・懇親会（大会のみ中止・延期）

日時：2020年8月29日（土）、30日（日）

場所：兵庫医療大学薬学部

大会長：徳島文理大学薬学部 石田志朗、実行委員長：天野 学

延期開催予定

日時：2021年9月4日（土）、5日（日）

場所：兵庫医療大学薬学部

大会長：徳島文理大学薬学部 石田志朗、実行委員長：天野 学

2. 2020 年 第 2 回 日本服薬支援研究会 総会 ＜総務＞

日時：2020 年 9 月 14 日（月）～19 日（土）

場所：メーリングリストでの総会資料提示と質疑

※会員の皆様へのお願い：総会資料をご覧頂き、ご意見・ご質問がありましたら、氏名を記載の上、9 月 19 日までにメール返信にて御送り下さい。期限までにご意見・ご質問なき場合は、ご了承を得られたものと扱わせて頂きます。

3. 簡易懸濁法研究会主催の Web 特別講演の開催 ＜学術集会委員会＞

日時：2020 年 9 月 19 日（土） 19:00～21:00

場所：Zoom による Web ライブ配信

内容： 19:00～19:45 代表幹事講演 倉田なおみ 先生（昭和大学薬学部）

「簡易懸濁法に関する新たな 3 つの話題」

19:45～20:45 特別講演 鷲澤尚宏 先生

（東邦大学医学部臨床支援室・東邦大学医療

センター大森病院・栄養治療センター、栄養部）

「栄養療法において薬剤師が期待されるお仕事のポイント」

20:45～21:00 質疑

参加費： 会員 1000 円、非会員 2000 円

申込方法： Peatix からの事前申込

4. 簡易懸濁法実技セミナー <学術集会委員会>

- ・第2回 日本服薬支援研究会 簡易懸濁法実技セミナー

日時:2021年2月、場所:兵庫医療大学薬学部にて開催予定、場合によってはWeb開催

5. 研究会の部・委員会の活動等

<広報部>

・会誌委員会

- 日本服薬支援研究会/簡易懸濁法研究会会誌の発行
(年2回 2020年12月、2021年7月)
- 内服薬経管投与ハンドブック第4版(じほう)5830円(税込)を、会員には特別価格2180円で販売(1人1冊、新規入会者も購入可)、2021年6月末まで

・HP委員会

- ホームページの情報の充実
 - ✓ 新規情報の掲載
 - ✓ 簡易懸濁可否情報共有システムへの情報追加
 - ✓ 内服薬経管投与ハンドブック第4版の出版に伴う簡易懸濁可否情報共有システムの情報入れ替え
- 会員メーリングリストの充実
 - ✓ 服薬支援に関連する情報の掲載
 - ✓ 会員からの質問に対する回答
 - ✓ 簡易懸濁可否情報共有システム未掲載薬品に対する可否情報の受付
- 服薬支援・簡易懸濁法に関する学会情報の収集

<学術部>

・学術集会委員会

- 第2回 日本服薬支援研究会/第14回 簡易懸濁法研究会 学術大会・総会、日時:2021年9月4日(土)、5日(日)、場所:兵庫医療大学薬学部、大会長:徳島文理大学薬学部 石田志朗、実行委員長:天野 学
- 第2回 日本服薬支援研究会 簡易懸濁法実技セミナー、日時:2021年2月、場所:兵庫医療大学薬学部にて開催予定、場合によってはWeb開催

・学会レポーター

日本医療薬学会年会(9月)、日本薬剤師会学術大会(10月)、
日本臨床栄養代謝学会学術集会(2月)、日本薬学会年会(3月)、
日本老年薬学会学術大会(5月)、医療薬学フォーラム(6月)等

注)新型コロナウイルスの感染拡大による学会の開催状況を鑑みてレポーターを会員から募集

・調査研究員会

- 簡易懸濁法に関するデータの添付文書掲載実現への活動
 - ✓ 2019年インタビューフォームへのデータ掲載が決定！
- 新知見の学会発表や論文への投稿

<生涯教育部>

・生涯検討委員会

- 簡易懸濁法認定薬剤師、簡易懸濁法認定指導薬剤師を輩出する
(認定および更新)

注)2015年に簡易懸濁法認定薬剤師および簡易懸濁法認定指導薬剤師の認定を取得された方は本年度更新になります。

- 簡易懸濁法認定制度を整備し、コロナ禍においても継続した認定が実施できるようWeb等による認定試験方法を立案・実施する。

・実技セミナー検討員会

Webによる実技セミナー開催の方法を立案・計画、トライアルを実施

6. 研究会の部門の活動等

<健康長寿（未病・予防）>

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響を受けた新たな生活スタイルが余儀なくされる中、健康に対する二次被害が懸念されています。感染を恐れるばかりに閉じこもりがちになり活動量が減少し、基礎疾患やメンタルヘルスが悪化したり、認知機能が低下したりなどの報告がされています。どの年代においても心身が健康であり続けられるように「未病」でありつつけられることに、少し意識する時期にあると考えます。

今年度は研究会からの情報発信も新たな視点が求められ、以下の事業について実施する。何卒、ご支援ご協力お願い致します。

- ・コロナ禍における「健康長寿（未病・予防）」の情報発信を会報やWeb研修会など通じて行う。

<運動障害>

薬を包装から取り出す際や使用する際に、片麻痺、パーキンソン病、関節リウマチなどによる障害や、抗がん薬による爪囲炎等に伴う障害による服薬困難・使用困難に対して、その障害に合せた支援について、ツールの開発を含め行うため、以下の事業について実施する。

- ・運動機能障害に対する服薬支援の現状について把握するための会員に向けた調査の実施
- ・上市されている服薬支援に関するツールを把握するための調査

これらの現状調査を行うことにより、運動障害による患者の服薬困難に対する薬剤師の関心を高める。

＜がんケア＞

- ・ がん患者の在宅生活において役立つ「がんケア」の情報発信を会誌やWeb研修会などを通じて行う。

＜医療安全＞

- ・ 患者さんが適正に服薬するためのツールや機器などの調査を行うほか、服薬支援の観点からのプレアボイド、ポリファーマシーについての論文や学会での発表に関する調査も行い、広く患者さんの安全と医薬品に関連した情報を会員の皆様に提供することを目的とする活動を行う。

2020年度 日本服薬支援研究会 収支予算(案)

(2020年7月1日～2021年6月30日)

【収入の部】

(単位:円)

勘定科目		2019年度	2019年度	2020年度	2019年度	摘 要
大科目	小科目	予 算 額	決 算 額	予 算 案	予算額との差異	
会費収入		4,396,000	4,867,000	4,629,000	233,000	
	正 会 員会費	3,390,000	3,611,000	3,175,000	-215,000	5,000円×635件
	学生会員会費	6,000	6,000	4,000	-2,000	2,000円×2件
	賛助会員会費	1,000,000	1,250,000	1,450,000	450,000	50,000円×29口(15社)
		3,207,000	2,155,502	660,000	-2,547,000	
事業収入						
	講演会費	0	0	180,000	180,000	■Web講演会2回分：18万円（会員70名、非会員10名）
	学術大会・総会費	1,332,000	1,272,000	0	-1,332,000	第2回開催中止/総会メール開催
	実技研修会費	1,775,000	813,502	425,000	-1,350,000	■神戸実技セミナー（主催）参加費：22万円（会員10名、非会員30名） ■Web実技セミナートライアル（主催）参加費：0円 ■認定単位証発行：10.5万円（会員10名、非会員15名） ■共催セミナー資料代：10万円（200名）
	認定事業費	100,000	70,000	55,000	-45,000	■簡易懸濁法認定薬剤師検定料：2万円（4名） ■認定薬剤師更新料：1.5万円（3名） ■簡易懸濁法認定指導薬剤師検定料：2万円（2名）
その他収入		0	0	0	0	
当期収入合計(A)		7,603,000	7,022,502	5,289,000	-2,314,000	
前期繰越収支差額		4,762,287	4,762,287	5,773,789	1,011,502	
収入合計(B)		12,365,287	11,784,789	11,062,789	-1,302,498	

【支出の部】

(単位:円)

勘定科目		2019年度	2019年度	2020年度	2019年度	摘 要
大科目	小科目	予 算 額	決 算 額	予 算 案	予算額との差異	
事業費支出		3,600,300	2,773,485	1,346,650	-2,253,650	
	講演会費	0	0	245,640	245,640	Web講演会（2回）：謝礼、研修シール・郵送費
	学術大会・総会費	1,332,000	1,272,000	30,000	-1,302,000	総会メール開催、次年度大会ポスター作成費用
	実技研修会費	1,655,500	1,050,636	442,650	-1,212,850	■神戸実技セミナー（主催）：セミナー薬品・器具代、謝礼、交通費・宿泊費、研修シール ■Web実技セミナートライアル（主催）：セミナー薬品・器具代、送料等 ■共催セミナー薬品・器具代：6万円（200名）
	認定事業費	250,000	162,129	10,000	-240,000	認定証発行等費用
	簡易懸濁可否情報 共有システム保守費	262,800	262,800	264,000	1,200	簡易懸濁可否情報共有システム保守費：2,2000円（税込）／月＊12カ月分
	ホームページ改修費用	100,000	25,920	600,000	500,000	経管投与ハンドブック第4版データ更新費用
		3,368,550	2,888,361	3,700,840	332,290	
管理費支出						
	幹事会・委員会費	390,000	159,013	650,000	260,000	■Web幹事会（15名参加×12回） ■Zoom年間契約料（幹事会、講演会用） ■委員会等インターネット会議開催費用
	事務消耗品費	475,000	721,939	535,000	60,000	会報作成（2回）、その他インク・コピー代等
	通信費	372,550	284,157	618,840	246,290	後納郵便代、宅急便代、メール便代、切手代、委嘱状送付費
	人件費	1,779,000	1,611,564	1,737,000	-42,000	毎日学術フォーラム事務委託料, 作業委託料, 会計士報酬料
	租税公課	97,000	80,726	30,000	-67,000	源泉徴収税
	原稿料	105,000	10,000	30,000	-75,000	原稿執筆料
	雑費	150,000	20,962	100,000	-50,000	振込手数料, Peatix手数料, 共有システム登録表彰費
予備費	予備費	600,000	349,154	2,100,000	1,500,000	「調剤と情報」別冊購入費（20回分） 「経管投与ハンドブック第4版」特別割引半額負担費（700冊分）
その他支出		0	0	0	0	
当期支出合計(C)		7,568,850	6,011,000	7,147,490	-421,360	
当期収支差額(A)－(C)		34,150	1,011,502	-1,858,490	-1,892,640	
次期繰越収支差額(B)－(C)		4,796,437	5,773,789	3,915,299	-881,138	

2. 簡易懸濁可否情報共有システム新規登録者表彰

今回、新規登録上位者が研究会幹事のみとなりますので、表彰は行いません。